



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社  
 コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3661-1039

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	15,259	4.5	1,632	173.5	1,741	162.4	2,244	241.3
30年3月期第1四半期	15,970	3.1	597	65.3	663	63.8	657	50.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 884百万円 ( %) 30年3月期第1四半期 754百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	44.59	
30年3月期第1四半期	12.39	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	114,247	65,499	57.2	1,299.74
30年3月期	115,400	65,696	56.8	1,300.88

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 65,347百万円 30年3月期 65,532百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		17.00		17.00	34.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	1.8	2,500	4.4	2,500	1.4	2,200	3.4	43.73
通期	68,000	5.3	5,200	7.7	5,200	2.2	4,300	3.4	85.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	53,119,190 株	30年3月期	53,119,190 株
31年3月期1Q	2,842,043 株	30年3月期	2,743,545 株
31年3月期1Q	50,329,710 株	30年3月期1Q	53,086,491 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題や中国を始めとする海外経済の不確実性、米国の金融政策の動向など、依然として先行き不透明感が払拭できない状況が続いてはいるものの、国内においては、企業収益や雇用環境は着実に改善しており、全体としては引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、本年4月に薬価制度の抜本改革による想定外の薬価引き下げを受けたことや、後発医薬品の使用促進など医療費抑制策が強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、152億59百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。一方、利益につきましては、堅調な海外業績に加え、効率的な経費の使用に努めたことや研究開発費の一部が第2四半期以降にずれ込んだこともあり、営業利益は16億32百万円（前年同四半期比173.5%増）、経常利益は17億41百万円（前年同四半期比162.4%増）となりました。また、特別利益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億44百万円（前年同四半期比241.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## ①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、国内におきましては、本年4月の薬価改定や後発品及び競合品の影響を受け、さらには海外におきましても、一部地域での売上減少やスイスフラン高の影響を受け、ともに苦戦いたしました。一方で、炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort®」（国内販売名：「ゼンタコート®」）につきましては、国内外ともに引き続き売上を拡大いたしました。なお、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」につきましては、引き続き内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起しに努めております。

また、平成29年11月に『インフリキシマブB S点滴静注用100mg「日医工」』の共同プロモーションを開始し、消化器領域における製品ラインアップの充実を図っております。

これらの結果、当事業の売上高は、81億29百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。

## ②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」及び「ウイズワン®群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上に努めた結果、引き続き売上を拡大いたしました。また、平成30年4月に「ヘパリーゼ®Wプレミアム極」を発売し、製品ラインアップを強化いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、市場競争の激化により苦戦いたしました。医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持しております。

これらの結果、当事業の売上高は、70億92百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

## ③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は36百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,142億47百万円となり、前連結会計年度末対比11億53百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が382億64百万円で、前連結会計年度末対比2億41百万円の減少、固定資産が759億83百万円で、前連結会計年度末対比9億11百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少13億28百万円、受取手形及び売掛金の減少2億50百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加8億11百万円、前渡金の増加等流動資産のその他の増加5億21百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の減少14億67百万円、投資その他の資産の増加5億15百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は487億47百万円となり、前連結会計年度末対比9億56百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が352億11百万円で、前連結会計年度末対比9億48百万円の減少、固定負債が135億36百万円で、前連結会計年度末対比8百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、賞与引当金の減少3億80百万円、未払金の減少等流動負債のその他の減少6億17百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は654億99百万円となり、前連結会計年度末対比1億96百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上22億44百万円、前期末配当の実施8億56百万円、自己株式の増加2億19百万円、為替換算調整勘定の減少13億40百万円等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.4%上昇し、57.2%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、利益が予想を上回る水準となりました。第2四半期以降につきましては、Entocort®やヘパリーゼ®群などの主力製品の売上高は引き続き拡大する見込みであるものの、国内外で実施している治験の進捗などにより研究開発費が高水準で推移すること、さらには、為替相場の先行きが不透明なことなども考慮し、現時点では平成30年5月11日に公表いたしました連結業績予想は変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,166,898	8,838,346
受取手形及び売掛金	15,613,572	15,362,955
有価証券	7,030	—
商品及び製品	5,383,551	5,830,945
仕掛品	812,582	1,063,715
原材料及び貯蔵品	3,179,542	3,292,769
その他	3,365,016	3,886,144
貸倒引当金	△22,650	△10,744
流動資産合計	38,505,543	38,264,132
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,404,656	7,461,357
土地	11,701,591	11,699,000
その他（純額）	4,234,515	4,220,547
有形固定資産合計	23,340,763	23,380,905
無形固定資産		
のれん	8,717,014	8,426,966
販売権	16,723,510	15,786,608
その他	6,897,108	6,656,388
無形固定資産合計	32,337,633	30,869,963
投資その他の資産		
投資有価証券	6,935,818	7,486,617
退職給付に係る資産	13,571,512	13,576,094
その他	750,211	710,067
貸倒引当金	△40,729	△40,219
投資その他の資産合計	21,216,813	21,732,561
固定資産合計	76,895,211	75,983,430
資産合計	115,400,755	114,247,562
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,072,673	2,142,785
短期借入金	24,926,395	24,634,075
未払法人税等	693,948	968,146
賞与引当金	1,208,462	827,480
返品調整引当金	38,995	41,855
売上割戻引当金	97,190	92,710
その他	7,121,970	6,504,148
流動負債合計	36,159,637	35,211,202
固定負債		
長期借入金	8,676,175	8,573,600
退職給付に係る負債	750,754	790,286
資産除去債務	54,760	54,827
その他	4,063,268	4,118,036
固定負債合計	13,544,958	13,536,750
負債合計	49,704,595	48,747,952

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	42,096,195	43,484,167
自己株式	△5,600,862	△5,820,202
株主資本合計	54,773,853	55,942,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	752,754	891,094
為替換算調整勘定	3,260,540	1,920,395
退職給付に係る調整累計額	6,745,288	6,593,363
その他の包括利益累計額合計	10,758,583	9,404,853
非支配株主持分	163,723	152,270
純資産合計	65,696,159	65,499,609
負債純資産合計	115,400,755	114,247,562

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）
売上高	15,970,046	15,259,148
売上原価	4,761,347	4,368,066
売上総利益	11,208,699	10,891,082
返品調整引当金戻入額	48,013	38,995
返品調整引当金繰入額	48,391	41,855
差引売上総利益	11,208,321	10,888,222
販売費及び一般管理費	10,611,299	9,255,344
営業利益	597,022	1,632,877
営業外収益		
受取利息	2,142	2,539
受取配当金	132,611	120,609
その他	38,283	40,939
営業外収益合計	173,037	164,088
営業外費用		
支払利息	39,902	48,049
為替差損	59,384	2,267
その他	6,846	4,684
営業外費用合計	106,133	55,001
経常利益	663,926	1,741,964
特別利益		
投資有価証券売却益	562,810	2,540
受取和解金	—	1,579,034
特別利益合計	562,810	1,581,575
特別損失		
固定資産除却損	563	87
特別損失合計	563	87
税金等調整前四半期純利益	1,226,173	3,323,452
法人税等	563,047	1,075,576
四半期純利益	663,125	2,247,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,526	3,518
親会社株主に帰属する四半期純利益	657,598	2,244,358



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	663,125	2,247,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163,931	138,339
為替換算調整勘定	△1,579,901	△1,349,647
退職給付に係る調整額	△1,615	△151,924
その他の包括利益合計	△1,417,584	△1,363,232
四半期包括利益	△754,459	884,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△752,974	890,628
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,485	△5,984

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,958,441	6,975,029	15,933,470	36,576	15,970,046	—	15,970,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20	20	135,505	135,525	△135,525	—
計	8,958,441	6,975,049	15,933,490	172,082	16,105,572	△135,525	15,970,046
セグメント利益	59,570	1,765,967	1,825,538	58,858	1,884,396	△1,287,374	597,022

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,287,374千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,129,802	7,092,964	15,222,767	36,381	15,259,148	—	15,259,148
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	43	43	181,328	181,371	△181,371	—
計	8,129,802	7,093,008	15,222,810	217,709	15,440,520	△181,371	15,259,148
セグメント利益	1,367,627	1,479,144	2,846,772	57,894	2,904,666	△1,271,788	1,632,877

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,271,788千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	8,129,802	△9.2
コンシューマーヘルスケア事業	7,092,964	1.7
報告セグメント計	15,222,767	△4.5
その他	36,381	△0.5
合計	15,259,148	△4.5

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

## (2) 新薬パイプラインの状況

## I. 国内開発状況

(平成30年8月3日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中	Z-213/ カルボキシマルトース第二鉄	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ (アジア共同治験)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品
臨床準備中	ZG-801/Patiromer	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合 非吸収性ポリマー	導入品

## II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
承認申請中 (欧州)	TP05/メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品